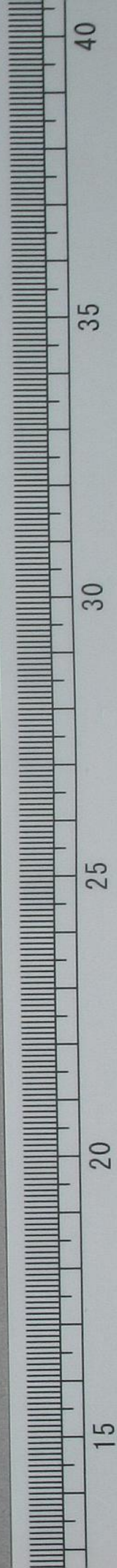


明治廿二年三月拾日真之

日英新條約
所見開演說
筆記

所有者
北村氏

柳田文庫
文庫11
A 1936



文庫 11

A 1936



日英新條約所見問題演

貴族院議員近衛篤磨公演説

諸君軍國主義ノ今日ニ當リマシテ軍國主義ノ關係
 ナキ問題ヲ持出シ内閣ノ諸公ヲ煩スト云フコトハ甚ク
 忍ビナイ事デアリマス併ニ亦ラ今面ノ戦争ハ益々良
 結果ヲ表スルコトヲ戰ハ毎ニ必ズ勝ヲ取ル毎ニ必ズ取ルト
 云フノ有様デゴザイマス此有様デ往ツタレバ戦争ノ
 結局ノ後ニ於テハ日本ノ地位ハ如何ナル所マテ同ムルデ
 アラハカ又諸外國ハ必ズ我國ヲ見ルニ於テ決シテ從
 前ノ通ノ眼ヲ以テ見ナイデアラウト云フコトハ相違像ガ



010190532513

出ル^来テアル果ニテ我^我國ガ地歩ヲ進^進メルモノトシタナレバ又是
ニ對スルカケ我^我國ノ責任ト云フモノガソレダケ^ケ重クナルト
云フ事ハ^覺悟ヲシナケレバナラヌト思フ^フコト見タナレバ
將來ニ日本ガソレタケ^ケ地歩ヲ進^進メルモノトシタナラバ
今日ヨリ^シテ苟モ我^我國ノ國權ノ消長ニ關係スル事
デア^アルナレバ十分ニ攻^攻定^定ル^ルコト置^置ク^クコト^ト事^事決^決ミ^ミ是
ハ徒勞^徒ダナカラウト思フ^フ其^其國權ニ關係スル事柄ヲ其
最モ大ナルモノハ何^何ラアルカト言^言タ^タナラバ^バ即^即チ^チ條約ノ事
ヲアル^{アル}ソレガ今日此^此戰事ノ日取^取中^中ラアルニモ拘^拘テ^テ此^此問
題ヲ持^持出^出シ^シテ政府^{政府}ニ質^質問^問ヲスル^ル迄^迄事^事ヲアリ^リス^ス我^我國

條約改正後事^事ニ^ニミ^ミタ^タノ^ノハ被^被ノ^ノ故^故山^山右^右名^名大^大使^使ガ^ガ歐
米^米諸^諸國^國ヲ^ヲ巡^巡回^回セ^セラ^ラレ^レタ^タコ^コト^ト也^也ツ^ツラ^ラ今^今日^日ニ^ニ至^至ル^ルコ^コト^ト數^數回
ニ^ニ及^及ヒ^ヒコ^コト^ト條^條約^約ニ^ニカ^カラ^ラズ^ズ一^一度^度モ^モ其^其効^効ヲ^ヲ奏^奏シ^シタ^タコ^コト^トハ^ハナ^ナイ
ス^ス或^或ハ^ハ先^先方^方ノ^ノ不^不同^同意^意ニ^ニ依^依リ^リテ^テ條^條約^約ニ^ニカ^カラ^ラズ^ズコ^コト^トモ^モアリ^リ或^或ハ
國民^{國民}ノ^ノ輿^輿論^論ガ^ガ之^之ヲ^ヲ攻^攻撃^撃シ^シタ^タカ^カタ^タメ^メニ^ニ終^終ル^ルコ^コト^ト無^無効^効ニ^ニ歸^歸ス
タ^タコ^コト^トモ^モアル^{アル}其^其故^故ニ^ニ今日^日ニ^ニテ^テ條^條約^約改^改正^正ノ^ノ談^談判^判ノ^ノ迄^迄事^事
ヲ^ヲ見^見タ^タレ^レバ^バ實^實ニ^ニ失^失敗^敗ノ^ノ歴^歴史^史デア^アル^ル事^事ハ^ハ爭^爭ハ^ハシ^シ又
事^事果^果シ^シアル^ルト^ト思^思フ^フ然^然レ^レ昨^昨年^年七^七月^月格^格方^方日^日ヲ^ヲ以^以テ^テ我^我ガ^ガ全
權^權公^公使^使ノ^ノ青^青木^木子^子爵^爵英^英國^國ノ^ノ外^外務^務大^大臣^臣オ^オハ^ハバ^バー^ーレー
伯^伯ト^トシ^シテ^テ名^名義^義調^調印^印ニ^ニタ^タル^ル所^所ノ^ノ通^通商^商航^航海^海條^條約^約ト^ト云

フモノハ即チ同年八月某日ヲ以テ御批准ニナリ居リマス
其当時此新條約ガ世ノ中ニ現ルト同時ニ英
派ナ對等ノ條約案ト言ワレテ隨分世中テハ
之ヲ持確ニシテアリマス此ノ他ク此英條約ト云フモノ
ハ世ノ中ニ歡迎セラレタケレドモ尚其條約ノ正文ト
云フモノヲ熟讀玩味スルト云フト云ハ其箇案中モ
御案スルヤウナ事ノ旨スルヤウナ箇條ガナイトモ
言ハレズ或ハ本條約ノ明文ト云フモノヲ議定者
又ハ公文ヲ以テ打消シタヤウナ事モナリ云フ事モ
此條約ヲ見タ人ハ必ス心付カレルデアラウト思フ

ノテス且ハ實ニ我國權消長ニ大ナル關係ヲ有スルモノアルガ
故ニ政府考アル所ヲ確シテ尚ホ將キ大ニ攻究シヤリ
ト云フ者アルニスラ今更ニ疑ノ存ル所ヲ與テナラバ
殆ド箇條毎ニ疑ヲ存ニナケレバナラヌト云フ嫌ガアルガ
係ニカハラ其ハ甚ク煩ハシイ事ナラサナ問題杯ヲ散
ラ責ムルニモ及ブイト思フ其レ故ニ今此ノ所テハ其
煩ヲ避ケテ只ニ主要ノ二三點ヲ質問シヤウト思フテ
アリマス左條約中ニ就キテ最モ主要ナル點ハ向ニテ
アルカト云ワタレバ先ツ海關貿易權事ナル居箇
地制度事ナル海關稅率事ナル又法

又ハ大不列顛國皇帝陛下ノ版圖内ニ於ル日
本國臣民ハ此事項ニ關シテハ各々法律勅令
及ビ規則ヲ以テ他外國臣民或ハ人民ニ許シモ若
ハ許與セラルベク諸權利ヲ享有スルモノトス
ルコトガ其ノ項ニアリマスモ十項ハハ海領
易ニ制限ガ附テアル事ニ於キモハハ大不
列顛國皇帝陛下ノ版圖内ニ於テ積載スル
貨物ノ仕向ケタル荷物ヲ外國ニ於テ積載スル
日本國船舶及日本國皇帝陛下ノ版圖内ノ
二箇以上ノ港ニ仕向ケタル荷物ヲ外國ニ於テ積

載スル大不列顛國船舶ハ外國貿易ヲ許サレ
ル仕向港ニ於テ其ノ積載ノ一部ヲ陸揚スルコト
其ノ最初積載スル貨物ノ卸卸陸揚充
爲ノ他ノ港ニ於テ數港ニ追駛スルコトヲ得ル
但シ常ニ兩國ノ法律及稅關規則ニ從フヤキモノトスアリ
コト是ハ輸入船舶ガニツ以上ノ港ヲ連航スルコトニ就イテノ
規定デアリスワレテ是レガテアレバ誠ニ立派デアリ然レモ
其ノ項ノ但肩ニドウコトガアリマスカト云フト但シ日本國政府
ハ本條約ノ期限間ニ是レヲ通リ大不列顛國船舶ガ帝國
ノ現開港場間ニ積荷ヲ運搬スルコトヲ許スルヲ承諾ス

海軍省造船會社

大阪新潟及東港此ノ限リ在ラズ然ニト此等三項但書
デ以テ前ノ三項ハ採扱ニテ仕舞ツタヤウナモノト見エルノデアリマス
テ此ノ如キ条約ヲ羨望セラレタト云フモノハ如何ナル理由デアリガ
海貿易ノ事ハ最モ能ク將來ニ於テ注意シナケレバナラ
又所ノコトデアル然ルニ其事柄ヲ立派ニ示明シテ三項ニ於テ
置キホラセテ三項ノ但書ヲ以テ消滅ニ歸セシムルト云フ事ハド
ウ云フ程密デアルノカソレデモ更ニ至ラナイト云フ御見込デアリカ
云フコトヲ伺イタヒ是レガ先ウノ問テアリマス且此等ノ事三項中
一項開港場間積荷ヲ運搬スルト云フコトガアリマス是ハ海外仕出
港ニ於テ積載スル所ノ貨物ヲ云フ言フデアリガ將テ又帝

國開港場一ノ港ニ於テ積載セル他ノ港ニ於テ積載セル
貨物運搬ヲモ意味スルノデアリカソレ等モ一ウ伺ヒタイト云フ
条項一デアル此ニ海貿易ノ事ハ何所國デモ隨分唯三
ノ制限ヲ立テ居リ云々英國ノ如ク總テ自由主義ヲ執
ルテ居ルヤリナ國デアリ云々モ尚ホ彼ノ航海律ト云フモノガア
ワテ既ニ此三四十年前ニテ行ワテ居ッタト云フ位ナコトデアリ況ヤ
我國ノ如ク一ツ銷用ノ港ノ醒メテカラ後僅ニ三三十五年
モ力過ギナイ位ノ國デアリテ殊ニ海國デアリナカラ航海
事ニ關シ國ニ在ラテハ尚更注意スヤキコトデアルト云フ
ニモ拘ラズ此条約ニ此ノ如キ規程ノアルト云フコトハ甘言ナ

外人國世論

不審地へ又ノテアリマスカラ此一箇条ヲ先ツ第一ニ伺イタ
イノデアリマス其レカラ其次ニアリマスハ居留地ニ事デアリ
マス是ハ本条約ノ條ハ条第拾條ニハ大不列顛國政
府ハ本政府ニ關スル限ハ左ノ取極ニ全意スルニ日本
國ニアル各外國人居留地ハ全ク其所在ノ日本國市
區ニ編入シ爾後日本國地方組織ノ一部トナルベク斯レ
キフコトデアリマス居留地制度ト云フモハ全ク是レ廢
スルト云フコトニ外觀上ナツテ居ルサウモ其是レシテ居留
地ト云フモハ日本ノ市ノ中ニ組入レルト云フコトニナツテ
居ル是ハ誠ニ結構デアリマスガ併ナカラ從來カラ

代借地券ト云フモガアリマシテ其ハ矢張有効モノト確認
セラレテ其借地券ニ載セタル條件ノ外ハ總テ何等ノ條件
ヲモ附セザルベキト此中ニ書イテアル然ラバ此等居留地
ト云フモガ果シテ市區ニ編入サレテ地方組織ノ一部トナ
以上自カラ地方税ノ負擔ト云フモガナケレバナラ又然ルニ地方
税中テ地租割ノ如キ市税地租附加ノ如キ特別税地
租割ノ如キ總テ借地人ニ賦課スルコトガ出来ナイモノニ
所ガ其借主ハ外國人デアル地主ハ誰カト云ハバ政府デ
アルニナラバ其地主ノ資格ヲ以テ其地方ノ借地料ト云フ
モノハ政府ガ負擔スルデアラウガ是ガ先ツ質問

ノ一ツノ箇條デアリマス其レカラ其次ハ此箇條ノ芽三項
「外国人居留地公共」目的ノ爲メ無借料ニテ既ニ貸與ニシ
タル各地所ハ永代ニ保存セラルベシ且該地所ニシテ
最初貸與ニシタルトキノ目的ニ使用セラル、限ハ總テ租稅
及ビ徵收金ヲ免スヤシ但シ土地收用權ニハ從フベキモノトス
斯ケラフコトガアル其レデ此箇條ハ居留地ノ公共ノ目的ノ爲メニ
貸與ニシタル地所ハ其目的ヲ變ヘナシ例ヘバ公園デアレバ
何時マシモ公園テ置ク限リハ永代無ヤデ貸與テ置ク併ニ
ナカラ土地收用權ニハ從ハナケレバナラヌ若モ其公園ノ内ニ鐵道
自來路ヲ敷クトカ或ハステーションヲ置クトカナラズ場合ニハ

其ハ土地收用權ノ作用ニ從ハナケレバナラヌコトガアリマス
併ニナカラ特ニ土地收用權ニ從ハナケレバナラヌコトガアリ
ルケレドモ外国人一個人ノ借テ居ル所ニ附イテハ何モナイ
ニテ見バ外国人一個人ノ借テ居ル即チ公共ノコトデ
ナイ所ノ地所ニハ土地收用權ハ施行スルコトガ出来ナ
イト云フコトヲ規定シマヤルニ解釋ガ出来るノデア
リマス其邊ハトウ云フモデアアルカワレモ質問アリマヤ居
留地制度ノ事ハ先リ其位ニシテ置クニテ其次ニ左條約
第拾九條存存約ノ規定ハ法律ノ許ス限リ大不列顛
國皇帝陛下ノ殖民地并ニ其ノ海外領地ニ適用

外人國地公法論

スヤニ但左に列記スル所ハ此限ニ在ラズ印度加拿大
領地ニエーフワウエドランド吉吉望嶺殖民地云々ナリ
マスト此條約トシテモハ法律ノ許ス限ハ英國ノ殖民
地ニ成ルベク適用スルコトが出来ル係ニガラ是々ノ
所ハナラヌト云フ箇所ガ格致箇所アリトス然レト英
國殖民地ノ重モナルモノ主要ナルモノハ大抵此中ニ網羅
セラアルサウニラ見ルト此條約ハ英國利本國ハカリ
ニハ適用スルケレトモ其外ノ殖民地ニハ適用スルコト
が出来ナイ結果ニナルヤウニ見エユス若モソレガ
事實デラナラバ是等ノ印度以下格致箇所ト

云フ所ヲハ矢張英國國民デアリス其邊イナイガ其レ等
ノ人トハ更ニ日本ハ特別條約デモ然バナケレバ無條
約國ノ人間ト見ナケレバナラヌデアルトウモカキマリ
解釋ハ出来ナイハデアリス其邊ヲ伺ヒタイワレカラ
本條約ノ規定ニ從フテ我帝國ニ渡來シ内地何レモ
所ニモ居住ニ自由ニ輸出貿易等ヲ始シ其他ノ
商業ニ從事スルコトヲ得ルコトガ英國本國ノ臣
民ト異ナルコトハナイデアリスソウスト云フト云ニ權衡
ヲ失フヤウニ見エルトデアリス若モ印度其外格致
箇所ノ人民ガ日本ノ來ラ商業ヲ營ニ或ハ其レ等ノ

業ニ後事ナルコトが出ヌルト見タラバ若モ日本人
 が印度ナリ其ノ外ニ往ツテ十分ノ權ヲ得ルコトガ
 出ヌ又ト云フ其ノ合ガアウタラバ是ハ頗ル平等ナリ
 モノト謂フケレバナラ又所ガ格ナキ規定ヲ見ルコ
 ドウモナリ云フ條ガアルヤリと思ハル又本條約ノ其ノ
 条ニ所締盟國ノ一方ノ臣民ニミテ他ノ一方ノ版圖内
 ニ住居スル者ハ陸軍海軍護國軍民兵等ニ論ナク
 總テ強迫兵殺ヲ免カレ且其ノ服紋ノ代リトシテ
 取立ル所ノ一切ノ納金ヲ免カレ又一切ノ強莫カ公使
 及ビ軍事上ノ賦斂ノ捐資ヲ免カルベシ斯クナラ

事ガアリマスガ是ハ勿論英國ノ本國ト日本トノ間ニ
 在ツテ對等條約デアリテ相互ノ間ニハ此ノ通規定
 カレテアルカラヤシモ羊支ナイヤリコアリマス併ナカ
 約ト共ニ同一ニ調印カシタ所ノ公文ガアリマスガ其ノ
 文ニハ英國ノ或ル殖民地及ヒ領地ガ本條約第ニ条
 ニ註載セタ兵殺ニ關スル規定ニ從ハル条件ヲ以テ本
 條約ニ加入スツキコトヲ請ホコ有未公使ハ是ニ其諾ヲ
 與ヘテ居ルニ依ツテ見ルト我國ノ臣民ハ印度其ノ外
 皆所ノ殖民地往ツテ時分ニハ主張其兵殺ニモ服ナ
 ケレバナラ又ト云フヤリテ結果が出テ来ルコトデアリマス

又其外強迫兵後ハ勿論ノ詔軍事上ノ事或ハ
其外ノ首長ヲ總テ印度其ノ外ノ殖民地ノ人
民ト同シヤリト自認シテナケレバナラヌト云フ様ニ疑
ガ此本文ニ依ツテ見ルト生シテ東ルンテアリマス其邊
ハ如何ナモノテアリマスカ又英吉利領地ノ海關稅率
ド云フモノハ各領地ハ皆自王ノ制度デアリテ英本國
ノ稅率トハ皆異ナツテ居ルンテアル我國ノ品物ヲ英
吉利ノ領地或ハ印度デアルトカ或ハ其ノ外ノ加奈
太吉望デアルトカ云フ邊ニエ持ツテ往ツテ時カニ其
土地ノ稅率ニ從ハナケレバナラヌ是ニ反シテ英領地ノ貨物

ハ英本國ノ品物ト同シヤリト日本ニ持ツテ來テ日本デハ
此間規定カレタ議定書中ニ在ル稅率ヲ以テ賦課カ
ルト云フコトデアリテハ是レ又頗ル不權衡ノ至ト思
フンデアリマス云々ナラバ是等ノ諸國ニハ更ニ又一是ノ
稅率ト云フモノヲ以テ課稅スヤキデアルカ如何デアルカ
リレカラ其ノ次ニ稅キコシテハ本條約ノ第ニ條條約ニ稅テ
本條約ハ調印ノ日ヨリ少クモ五箇年ノ後迄ハ實施
セラレザルモノトス而シテ日本帝國政府ニ稅テ本條約
ヲ實施セシムルニ欲スル日ヲ大不列顛國政府ニ通知シ
タル後一箇年ヲ經ルニ非ザレバ實施セラレザルモノトス

右此通知ハ調印ノ日ヨリ四箇年ヲ経タル後何時
ニテモ爲スコトヲ得ヤモ又本条約ハ其ノ實施
ノ日ヨリ格ニ箇年間効力ヲ有スルモノトス斯クナ
ラリマス然ルニ本条約ノ實施ノ日ヨリ格同一
調印ヲセラレタ所ノ書本公使トキハバーレー伯ト
ガ調印サレタ公文ハ日本各法典ノ實施ニ至ルニテハ
本条約實施ノ通知ヲサカルニ旨ヲ約ス斯クナラフコトガ
アルノデシテ見ルト云フト從來法典ト云フコトハ始終
条約ノ条件ノ一クニシテ居ワタガ今度条約ノ正
バカリヲ見ルト更ニサレ云フ条件ハナイケレドモ先張此

文ヲ見マス其条件ガ附イテ居ルモノト固心ハルノ
デアリマス所ガ天皇陛下ノ詔批准ニシテ所ノ条約
ノ正文ト云フモノヲ僅ニソレニ附出スル所ノ公文ヲ以テ
之ヲ更ニシタト云フノハ... 改メタヤウナ姿ノアルハ是
ハドウ云フモノデアルカ是レモ一ウノ質問ノ箇條デア
リマスアレカラ又税率制定及變更ノ事ハ總ニ帝
國議會ノ協賛ヲ經ナケレバナラヌト云フコトハ憲
法ノ示ス所デアル然ルニ此議定者ノ附屬税目ヲ
以テ帝國議會ノ協賛ヲ經スニテ直ニ制定ナラ仕舞
ク是ハ若ヤ憲法ノ正条ニ反シテ居ルモノデアナヒガ

西國議會公使

是ニ質問ノ可キ本条約ノ正文ニ拘テハ海關稅率
又ハ法典實施英國殖民地及領地ニ關スル規
定ノ如キハ總テ議定書或ハ公文ニ依テ本条約
ニ規定スル所ニモ拘束シテ仕舞ウラリレカタメ
本条約ノ要領ヲ失ウテ其ノ同ニ時ニ發布シタ所
ノ公文ト議定書トチツモノヲ以テ取消シカカ
ニ其本条約デナレバ所議定書ト公文ト云フモ
ガ實効ヲ奏スルヤリニ由テ殊タリレバト云フ
譯テマルカ何ガ故ニ本条約ニ規定シタ所ノ
モノノ公文又ハ議定書ヲ以テ其ヲ拘束シカハ實

更ニタラシマルカ先ハ私的質問ニタイヒト云フ所
其位デアリマス尚ホ其外ノ箇条ハ幾ラモアリ
マセリケレドモ此位ノ事が大眼目ト思ハルカ
政府ニ於テハドウカ詳細ニ... 勿論此事ハ
政府ノ権限ニ屬スルヤリナコトデシテト云
ヌヤリナコトガアルガ知レセヌケレドモ其
ハモテシヤラコトヲ希望スルハテアリマス
之ヲ以テ此
質問書ヲ提出致スニモ理由ト致ス

